

令和5年度 第1回岡山市都市・消防政策審議会

と き 令和5年11月7日（火） 14:00～15:00

ところ 岡山市職員研修所（ほっとプラザ大供内） 2階 第2研修室

出席者委員 西山会長、中村副会長、氏原委員、勝矢委員、嶋田委員、田邊委員、  
本田委員、八百板委員

岡山市 嶋村下水道河川局長、浦田次長、荒木下水道施設部長、河原参事監、  
都築河川防災室長ほか  
事務局：都市企画総務課

○議 事

倉安川河川改修の再評価について

表記の件について、資料を基に説明。

○意見等

（意見） 既往最大の浸水範囲が解消されるのか。

（回答） 確率規模1/30年確率の河川改修整備後は、既往最大の浸水被害はほぼ解消されたと考えている。

（意見） 金額ベースでの進捗率は72%であるが、整備延長における進捗率はいくらか。

（回答） 一次改修（護岸整備）と二次改修（低水路）があり、一次改修整備後に二次改修に着手する施工方法であるため、整備延長ベースでは表現しにくい。

（意見） 河川断面が不足していることで浸水しているのか、それとも内水の問題で浸水しているのか。内水の問題であればポンプ整備等が必要と考える。

（回答） 倉安川流域の水を通水させるために必要な断面積を確保する事業であり、内水対策の事業ではない。

（意見） 農業用水にも利用されているのか。

（回答） 倉安川以南の田への重要な用水路である。

（意見） 護岸工事をコンクリートではなく石積みなどで行っていることについて。また、石積みとブロック、コンクリートが混在していることについての理由は。

（回答） 環境に配慮した石積み護岸としているが、可能な範囲でリサイクル石材の活用を図っている。また、当初の計画時の調査において、根入れ等、健全度が十分確認されたものについては、事業費削減のため、既存のままとした。

（意見） 事業の早期完了に向けて取り組んでいることは。

（回答） 当該河川改修においては、通行止めをどの場所にかけるかが一番の課題であった。そのため、施工箇所を両端から行うのではなく、住民の協力を得ながら、施工場所を選定し、施工してきた。

○審議結果

倉安川河川改修の再評価について、了承とする。

（以下余白）